

KOTO オンライン・マガジン ～ICTの効果的な活用～



今回は「GIGAスクール構想」に向けて、「各教科等におけるICTの効果的な活用」について、紹介いたします。

各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、授業改善につなげてください。



各教科等におけるICT活用事例

様々な
資料提示



考えの
共有



多様な
発表方法



個に
応じた学習



国語

スピーチをよりよいものに

タブレット端末の「録画機能」を活用して、スピーチの様子を撮影し、児童生徒が課題を見付け、改善していく。



社会、地歴、公民

様々な資料を活用

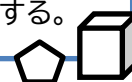
多くのデータや資料をひとりひとりが活用し、考察する。考察した内容をプレゼンソフトで発表する。



算数、数学

関数や図形を可視化

関数のグラフについて式の値を変化させて動く様子を可視化。正多角形の作図(プログラミング)にも活用する。



理科

観察や実験で動画を活用

観察や実験等を写真や動画で保存。実験の手順確認やふりかえりで活用し、考察を深める。



音楽、図工、美術

表現を広げ、鑑賞を深める

①リズムづくりやアニメーション制作など表現を広げる。
②曲を繰り返し聴いたり、作品を拡大して鑑賞したりする。



体育、保健体育

「記録」の活用で意欲向上

過去の記録と比較して記録の伸びを実感したり、自己の動作を動画で見て課題を発見したりする。



家庭、技術・家庭

振り返りやアイデアの可視化

動画を撮影して実習の手順確認や振り返りを行う。制作に向けたアイデアを描画ソフト等で可視化する。



外国語

録音機能で発音チェック

タブレットに向けて発話した内容を録音し、自己のパフォーマンスを確認。課題を見付け改善していく。



特別の教科 道徳

考えの共有

①一人一人の考えを端末で共有し、議論する。
②教員が一人一人の考えや考えの変容を把握する。



生活科、総合的な学習

映像による振り返りと探究的な活動の推進

集めた情報をもとに課題を設定し、プレゼンテーションソフト等を用いて発表する。



特別活動

生活上の課題を解決する

タブレット端末を活用した意見の共有を通して、集団の課題解決に向けた合意形成を図る。



特別支援

学習上・生活上の困難さをサポート

資料を拡大して確認したり、板書を画像で保存したり、個別の支援に活用する。

